

## 平成 19 年度予算 施策別概要

### 5 1 3 科学技術交流の推進

- ( 主担当部局：政策部科学技術振興センター )
- 51301 研究交流の推進  
( 政策部科学技術振興センター )
  - 51302 知的財産に取り組む環境づくり  
( 政策部科学技術振興センター )
  - 51303 科学技術への関心の増進  
( 政策部科学技術振興センター )
  - 51304 科学技術基盤の整備  
( 政策部科学技術振興センター )

#### < 施策の目的 >

- ( 対象 ) 県民、企業、高等教育機関、公設試験研究機関などが
- ( 意図 ) 科学技術に関する理解や交流を深め、連携している

#### < 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 ( 主指標 )	産学官連携共同研究件数	目標値	2010	5 0 件
			2007	5 0 件
		現状値		5 0 件

科学技術振興センターと県内企業、高等教育機関等との研究プロジェクト及び共同研究の件数  
( 科学技術振興センター調べ )

県の取組 目標項目 ( 副指標 )	産学官連携研究会数	目標値	2010	1 0 グループ
			2007	1 0 グループ
		現状値		1 0 グループ
( 副指標 )	一般公開講座等への参加者数	目標値	2010	1 1 , 0 0 0 人
			2007	1 1 , 0 0 0 人
		現状値		1 0 , 7 7 1 人

#### < 現状と課題 >

- ・ 社会や環境の急激な変化が進展する中で、科学技術の振興により県民生活の向上や産業の高度化を進めるためには、科学技術を育み発展させる風土や文化の形成が必要です。このためには、多様な主体の「知恵のであい( マッチング )」の場づくりや分野横断的なネットワークづくりを進め、研究交流や共同研究の推進等により、知的財産の創造・保護・活用につながる取組を充実していく必要があります。
- ・ 科学技術の振興には県民の理解と参画が不可欠であることから、県民への情報発信などを通じ、コミュニケーションの充実を図ることが重要です。
- ・ こうした課題に取り組むためには、その基盤となる人材の育成や研究施設等の整備を進めていくことが重要です。

#### < 平成19年度の取組方向 >

持続的・発展的な産学官連携システムを構築するため、多様な交流の場を設定し、産業界・高等教育機関等の研究者など多様な主体のネットワークづくりを進めます。同時に、計画的かつ戦略的な研

究連携を行うため、研究コーディネート機能や研究企画・立案力を一層強化し、共同研究・プロジェクトの推進や国等の競争的研究資金の獲得をめざします。

2005年度（平成17年度）に策定した「三重県知的財産戦略ビジョン」に基づき、知的財産を大切に、関心を高める環境づくりを展開して、産学官のマッチングによる知的財産の創造・保護・活用の取組の推進や、「新しい知恵」、「独自の知恵」を活用した地域課題の解決や産業の知識集約化につなげます。

県民の科学技術に対する興味や関心を高めるため、「子ども科学体験教室」や科学技術に関するセミナーの開催、インターネット等を活用した科学技術情報の提供などを行います。

科学技術の交流の基盤である研究人材の育成や施設・設備等の整備にも計画的に取り組みます。

#### <主な事業>

競争的研究プロジェクト推進事業費 【基本事業名：51301 研究交流の推進】

予算額： 61,860千円 87,708千円

事業概要： 研究プロジェクトの立案・申請・獲得に向けて、研究コーディネータの設置、大学等高等教育機関、公設試験研究機関、企業等とのコーディネート、プロジェクト育成試験などを行います。

地域産学官研究交流事業費 【基本事業名：51301 研究交流の推進】

予算額： 5,382千円 4,303千円

事業概要： 産業界・大学等高等教育機関・公設試験研究機関及び行政の参画による全県的な「研究者サロン」を構築し、交流会やコーディネータ会議の開催を通じて、研究交流を促進し、産学官連携の強化につなげます。

(重) 中小企業等知的財産活用支援事業費 【基本事業名：51302 知的財産に取り組む環境づくり】

予算額： - 千円 4,812千円

事業概要： 県内中小企業が、特許等の知的財産を活用し、新規事業の創出や技術の高度化を積極的に推進するため、知的財産のマッチング支援、知的財産の活用支援、知的財産の総合相談機能の充実により、県内中小企業の知識集約化を促進し、地域産業の振興を図ります。

なるほどコミュニケーション推進事業費 【基本事業名：51303 科学技術への関心の増進】

予算額： 2,667千円 2,667千円

事業概要： 県民との幅広い交流を通じ、科学技術振興センターの研究に対する県民の理解増進や科学技術への関心を高めるとともに、県民からの意見を聴取し、コミュニケーションを一層進めることにより、県民が科学技術に親しむことができる風土の形成をめざします。

畜産研究部施設整備事業費 【基本事業名：51304 科学技術基盤の整備】

予算額： 1,107,077千円 595,674千円

事業概要： 老朽化した畜産研究部の畜舎等施設を、研究業務の効率化を目指すとともに、地域に親しまれ、愛される施設となるよう周辺環境に配慮した整備を行っており、平成19年度は、中小家畜舎（豚・鶏用畜舎）の建築に着手します。